

令和7年度

運営に関する計画

大阪市立川北小学校

令和7年 4月

I 学校運営の中期目標

現状と課題

本校は、素直で子どもしさにあふれる児童が多い。子どもの学力面では、「主体的・対話的で深い学びの推進」に向け、教職員の共通理解や一体となった指導体制のもと、子どもの学びの環境を整えていく。また、主体的な学びと言語活動の推進に向け、より主体的に読書する子どもの育成を図る。一方で、基礎学力の定着に課題のある児童や家庭環境の複雑さに起因する生活指導面に課題のある児童が複数在籍しており、基礎学力の定着、家庭と連携した生活指導の充実が不可欠である。そのため、児童にとってわかりやすい授業づくり、児童の自主学習習慣づくり・家庭学習習慣づくり等に取り組み、授業形式では、4年生以上を対象とした専科指導を進めていく。

安心・安全面では、学校のきまり・学校安心ルールを運用し、基本的生活習慣の確立、規範意識の育成や仲間づくりを通して、望ましい児童集団づくりをすすめる。また、児童の自尊感情の醸成を促す指導をすすめていく必要がある。

体育・健康面では、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、児童の体力や児童の「運動」に取り組む意識が低下していることが危惧される。児童の体力づくりや「運動」に取り組む意欲の向上を図るために、運動するための環境整備をすすめ、感染症対策や食育をはじめ、児童が自主的に健康管理及び規則正しい生活習慣を身につけることができるよう、取組をすすめる必要がある。特に総運動時間が少ない児童は体力合計点が低い傾向にあり、まずは運動時間の確保から進めていきたい。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- 令和 7 年度の学校児童アンケートにおける「学校は、楽しい」の質問に肯定的回答をする児童の割合を 90 % 以上にする。
- 令和 7 年度小学校学力経年調査における「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 85 % 以上にする。
- 令和 7 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。
- 令和 7 年度の学校保護者アンケートにおける「学校は、安全・安心な教育環境づくり（環境美化、環境衛生等）に努めている」の質問に肯定的回答をする保護者の割合を 90 % 以上にする。
- 令和 7 年度の学校児童アンケートにおける「学校や家庭・地域などで地震や津波・火災が起こったとき、どう行動したらよいか知っている」の質問に肯定的回答をする児童の割合を 90 % 以上にする。
- 令和 7 年度の学校保護者アンケートにおける「子どもたちは、学校のきまり（ルール）を守っている」の質問に肯定的回答をする保護者の割合を 90 % 以上にする。
- 令和 7 年度の学校児童アンケートにおける「人の役に立つ人になりたいと思いますか」の質問に肯定的回答をする児童の割合を 90 % 以上にする。
- 令和 7 年度の学校児童アンケートにおける「自分には、良いところがありますか」の質問に肯定的回答をする児童の割合を 70 % 以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和7年度の学校児童アンケートにおける「授業はわかりやすい」の質問に肯定的回答をする児童の割合を85%以上にする。
- 令和7年度の小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も令和4年度より0.03ポイント向上させる。
- 令和7年度の小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。
- 令和7年度の小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的回答をする児童の割合を78%以上にする。
- 令和7年度の小学校学力経年調査における「学校の友だちとの間で話会う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を35%以上にする。
- 令和7年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点を令和5年度より全国平均に近づける。
- 令和7年度の小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることが好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を60%以上にする。
- 令和7年度の学校児童アンケートにおける「手洗いをしている」の質問に、肯定的回答をする児童の割合を90%以上にする。
- 令和7年度の学校児童アンケートにおける「給食を好き嫌いなく食べている」の質問に肯定的回答をする児童の割合を85%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 令和7年度において、授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。[ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く]
- 令和7年度の学校保護者アンケートにおける「学校は、ICT（1人1台学習者用端末、デジタル教材、協働学習支援ツール等）を活用した学習をすすめている。」の質問に肯定的回答をする保護者の割合を80%以上にする。
- 令和7年度において、「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準1を満たす教員の割合を85%以上にする。
- 令和7年度の学校児童アンケートにおける「読書が好きですか」の質問に肯定的回答をする児童の割合を80%以上にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【安全・安心な教育の推進】

- 令和7年度小学校学力経年調査における「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を77%以上にする。
- 令和7年度小学校学力経年調査における「自分にはよいところがあるとおもいますか」に対して肯定的な「思う」と回答する児童の割合を73%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和7年度の小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.01ポイント向上させる。
- 令和7年度の小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることが好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を60%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 令和7年度において、授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。[ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く]
- 令和7年度において、「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準1を満たす教員の割合を85%以上にする。
- 令和7年度の学校児童アンケートにおける「読書が好きですか」の質問に肯定的回答をする児童の割合を80%以上にする。

3 本年度の自己評価結果の総括（中期目標の総括も含む）

大阪市立 川北小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【安全・安心な教育の推進】</p> <p>○ 令和7年度小学校学力経年調査における「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を77%以上にする。</p> <p>○ 令和7年度小学校学力経年調査における「自分にはよいところがあるとおもいますか」に対して肯定的な「思う」と回答する児童の割合を73%以上にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	達成状況
<p>取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめアンケートを毎学期1回は必ず実施し、いじめの実態把握、いじめについて考える日の取り組みを通していじめを許さず、お互いの尊厳を高めあう集団づくりにつとめる。 ・すべての児童にとって、学びやすく、安全・安心な校内環境、教育環境づくりに努める。 <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎学期必ずいじめアンケートを実施し、聞き取りも行う。 ・「いじめについて考える日」の取り組みで各学年の実態に即した内容を精選して取り組む。 ・日常的に、教職員による校内の安全点検・衛生管理等を実施する。 	
<p>取組内容②【基本的な方向2 豊かな心の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ、きまりや時間を守ること、清掃の大切さを理解させる。 ・なかまづくりを通して、児童の自尊感情の醸成や思いやりの心を育てる。 ・互いの違いを認め合い、自他を尊重する態度を育成する。 <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学校のきまり」「学校安心ルール」を教室に掲示し、いつも意識できるようにする。 ・児童会を中心に行なう「あいさつ運動」（各学期1回）を実施し、チェックカードによる振り返りを行う。 ・「よいところさがし週間」（各学期1回）を実施し、チェックカードによる振り返りを行う。 ・異学年交流を楽しめるよう集会活動等を実施する。 ・子どもの人権にかかる体験授業、多文化理解等につながる体験的活動（全学年：年1回）を実施する。 	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	

次年度への改善点

大阪市立川北小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>○ 令和7年度の小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.01ポイント向上させる。</p> <p>○ 令和7年度の小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることが好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を60%以上にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	達成状況
<p>取組内容③ 【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> 算数を研究教科とし、すべての教員が、校内研究を通して指導力向上を図る。 学習意欲の原動力となる「心」への教育刺激として、すぐれた芸術にふれる教育活動や遠足、社会見学、体験学習等を実施する。 <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 教員の研究授業、公開授業等を1人1回、年間20回以上実施する。 教育指導員等を指導要請し、研究授業（年3回）・研究協議を実施する。 遠足、社会見学、体験学習等（全学年：年1回以上）を実施する。 	
<p>取組内容④ 【基本的な方向5 健やかな体の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 感染症対策をはじめ、児童の自主的な健康管理・衛生習慣（手洗い等）及び規則正しい生活習慣を育てる。 食物アレルギー対応を含め、食育の推進に努める。 体育的行事の充実を図り、児童が運動に親しむ機会を設けることで、児童の体力向上に取り組む。 <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> すべての児童に、感染症対策（ていねいな手洗い、アルコール消毒など）を徹底し、「手洗い週間」（各学期1回）を実施する。 「食物アレルギー対応」「救急救命」「熱中症対策」等の教職員研修（年1回）を実施する。 「保健だより」、「給食だより」（月1回）を発行し、家庭（保護者）への啓発をすすめる。 「なわとび週間」「かけあしタイム」等、体育的行事を実施する。 	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
次年度への改善点

大阪市立川北小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【学びを支える教育環境の充実】 ○ 令和7年度において、授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。[ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く] ○ 令和7年度において、「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準1を満たす教員の割合を85%以上にする。 ○ 令和7年度の学校児童アンケートにおける「読書が好きですか」の質問に肯定的回答をする児童の割合を80%以上にする。	
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	達成状況
取組内容⑤【基本的な方向6 教育DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進】 ・授業におけるICT機器（電子黒板、タブレット等）の積極的な活用に努めるとともに、オンライン学習等の推進に取り組む。	
指標 ・各学級、学習室等で、ICT機器（電子黒板・タブレット等）を活用した学習活動等を（週5回以上）実施する。	
取組内容⑥【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 ・教職員の働き方改革を推進し、しなやかな組織づくりに努める。	
指標 ・日々の最終退勤時刻を18時30分（4時間授業期間は18時）に設定し、教職員に周知することで、教職員の時間外勤務縮減への意識の向上を図る。 ・会議の精選等をすすめるとともに、週1日ゆとりの日を設定する。	
取組内容⑦【基本的な方向8 生涯学習の支援】 ・学校図書館の整備（蔵書の整理、データベース化等）をすすめる。 ・児童の学校図書館を活用した調べ学習・読書活動を推進する。 ・学校図書館の整備（蔵書の分類・整理、データベース化等）をすすめる。 ・学校図書館の開館（年間35回以上）、学校図書館を活用した調べ学習・読書活動等（各学級各学期1回以上）を行う。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	